

北陸新幹線レポート ～響くつち音、広がる未来～

《第4号》

平成30年5月22日発行

2023年春に敦賀まで開業予定の北陸新幹線。現在、沿線では工事が着々と進められています。本レポートでは、県民のみなさんに100年に1度のプロジェクトである新幹線事業を見て、感じていただけるよう、今しか見ることができない工事の状況をはじめ、北陸新幹線に関する様々な情報を随時提供していきます。

県内の工事着手率が100%に！

建設主体の鉄道・運輸機構は、今年3月、金沢・敦賀間のうち、県内すべての工区について工事契約を終え、県内の工事着手率が100%となりました。

2023年春の敦賀開業に向けたトンネルや高架橋、橋りょうの工事が県内全域で本格化し、今年度から来年度にかけて、工事は最盛期を迎えます。

新幹線の建設費は、営業主体のJRが機構に支払う貸付料（鉄道施設の使用料）を除いた額を、国と地方が2：1で負担することになっており、今年度の県負担額としては、過去最高の245億円を見込んでいます。



あわら金津高架橋



九頭竜川橋りょう



福井高柳高架橋



第2福井トンネル



日野川橋りょう



新北陸トンネル

県内4駅の外観デザインが決定しました！

今年3月、県内に設けられる新幹線駅4駅の外観デザインが決定しました。鉄道・運輸機構から提示された3案を基に、各駅設置市が学識経験者や市民の意見などを参考に1案を選定し、機構に推薦しました。また、各市は県産材や伝統工芸品の活用などを付帯意見として提出しています。

今年度は、各市の意見も参考に、内観を含む駅舎の実施設計を行い、設計完了後、すみやかに駅舎工事に着手する予定です。



【芦原温泉駅】

「あわら温泉の癒しと旅情が漂う駅」



(主な付帯意見)

- ・ 駅構内が明るく開放的な空間となるよう配慮
- ・ ユニバーサルデザインに配慮
- ・ 心地よさと安らぎを醸し出すとともに、県産木材や伝統工芸品を活用し、柔らかさや風合い、癒しが感じられる空間となるよう配慮
- ・ 夜間、こぼれた駅舎内部の灯りが、まちを照らし、光が連続する風景を演出するよう配慮

【福井駅】

「悠久の歴史を未来へつなぐシンボルゲートとなる駅」

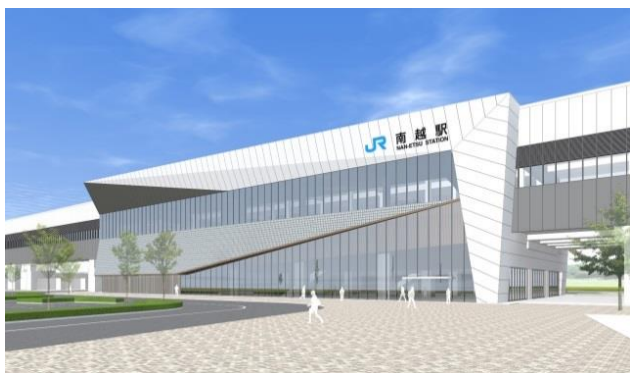


(主な付帯意見)

- ・ 県都の玄関にふさわしい風格があり、利用者にとって快適で利便性の高い駅
- ・ ホームからの眺望を確保し、東口広場からも新幹線の車輛が見えるよう、また、明るい構内となるよう採光に配慮
- ・ 地域産材と伝統工芸品の活用
- ・ ライトアップなど照明による夜間景観の演出に配慮

【南越(仮称)駅】

「コウノトリが飛翔する未来への道標となる駅」



(主な付帯意見)

- ・ 伝統工芸品を駅舎内部に活用
- ・ 県産材を使用したぬくもりのある駅
- ・ ユニバーサルデザインに配慮
- ・ 駅周辺施設との動線に配慮
- ・ ホーム階への採光に配慮

【敦賀駅】

「煌めく大海から未来へ飛翔する駅」



(主な付帯意見)

- ・ 駅西側からの見え方に配慮
- ・ 敦賀をアピールできるようコンコースのデザインに配慮 (改札内)
- ・ 子供や障害者、高齢者にやさしい設備の駅舎
- ・ 内装は開放感のあるデザイン
- ・ 県産材の活用
- ・ 敦賀駅全体が一体感のあるデザインとなるよう駅周辺の景観に配慮

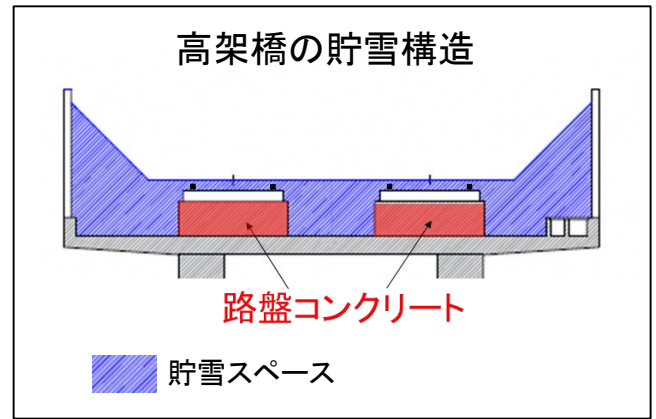
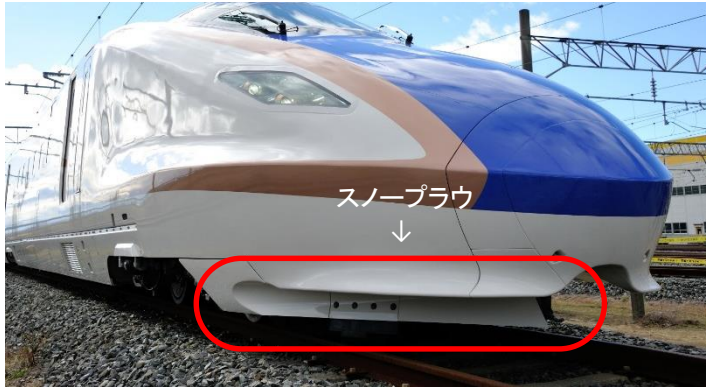
雪に強い北陸新幹線

積雪量が多い冬期間においても新幹線が安全かつ安定して走行できるよう、雪害対策を施しています。

今年2月の大雪の際も、北陸新幹線はほぼ通常どおり運行され、雪に強いことが証明されました。

建設中の金沢・敦賀間についても、軌道をかさ上げし、高架橋内の線路脇に貯雪スペースを設け、軌道上の雪を除雪作業車でかき分けて貯めておける構造としています。

また、新幹線車両には、先頭車両の下部にもスノープラウという雪かき装置がついており、雪をかき分けながら走ります。



防音壁の透明化について ～車窓から福井の風景を～



新幹線が走る高架橋には、騒音対策のため、防音壁が設置されます。その高さは場所により異なりますが、防音壁が2mを超えると車窓からの眺めが遮断されることになります。

県では、新幹線の利用者みなさんに福井の美しい景色を見ていただけるよう、防音壁が2mを超える区間について、できる限り透明防音壁を設置することが望ましいと考えています。

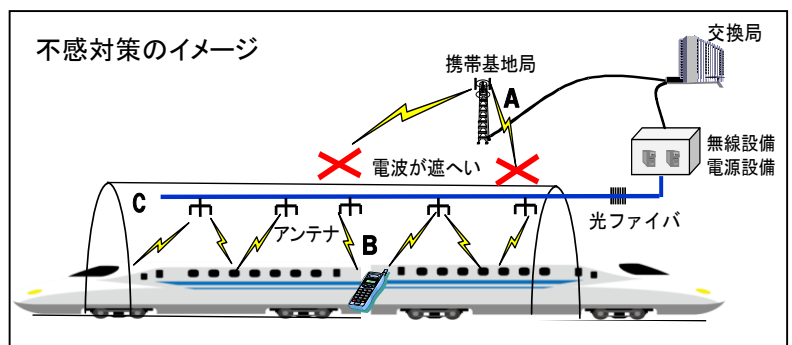
沿線には「福井ふるさと百景」に選定された九頭竜川などの豊かな自然、コシヒカリやいちほまれの稲穂が広がる美しい田園、秋に白く可憐な花が咲き誇るそば畑などふるさtoを感じさせる景観が数多くあるほか、遠くには白い頂の霊峰白山を仰ぎ見ることができます。

携帯電話の不感対策について

現在運行している高崎・金沢間のトンネル区間においては、携帯電話が使えない問題の解消に向け、実施主体の公益社団法人移動通信基盤整備協会による対策工事が進められています。

今年3月末時点で金沢駅～富山・新潟県境など、トンネル区間（高崎・金沢間）の約4割について対策工事を終え、北陸新幹線の利便性が向上しています。国では、2020年までに全区間の整備完了を目指しています。

現在建設中の金沢・敦賀間においてもトンネル区間が路線全体の約3割を占めることから、県では、2023年春の開業時から携帯電話が使用できるよう国や鉄道・運輸機構、移動通信基盤整備協会に対応を求めています。



新幹線建設予定地の発掘調査成果を発表します

昨年度、新幹線建設予定地などで実施した埋蔵文化財発掘調査の中から、とくに成果のあったものを取り上げ、調査結果を発表します。新幹線建設予定地の柿原能子窯跡（あわら市）、糞置遺跡（福井市）、大町田遺跡（敦賀市）での調査結果を紹介します。

多くの方のご来場をお待ちしております。

【第33回福井県発掘調査報告会】

日時 7月1日(日) 13時～16時

会場 県立図書館 多目的ホール

※申し込みは不要です

問い合わせ先 県埋蔵文化財調査センター

(Tel: 0776-41-3644)



大町田遺跡発掘調査の様子

新幹線の出前講座、工事現場見学会を行います

《出前講座》

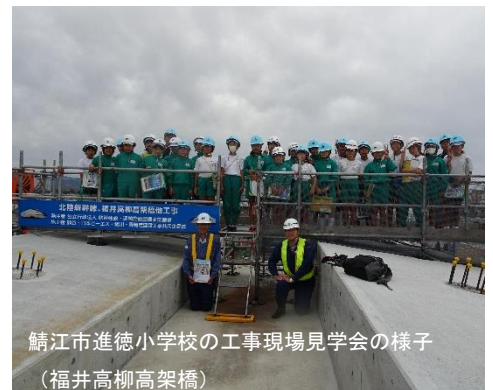
職員が県民のみなさんの元へ伺い、2023年春に敦賀まで開業予定の工事の進捗状況、小浜京都ルートによる大阪までの全線開業による時間短縮効果等について説明します。

子ども向けには、クイズなどを交え、北陸新幹線について楽しくわかりやすく説明します。

《工事現場見学会(小中学生対象)》

小中学生のみなさんに、校外学習等の時間を活用して、工事現場を見学していただくことができます。

問い合わせ先 県新幹線建設推進課 (Tel: 0776-20-0298)



鯖江市進徳小学校の工事現場見学会の様子
(福井高柳高架橋)

あわら鉄道建設所が開所しました

鉄道・運輸機構は4月18日、福井、敦賀、越前に続き、県内4か所目の建設所となる「あわら鉄道建設所」をあわら市国影のあわら市複合福祉施設（旧芦原町庁舎）内に開設しました。

あわら鉄道建設所は、これまで福井鉄道建設所が管轄していた区間のうち、あわら市および坂井市内の工事（延長約18km）を担います。

2023年春の敦賀開業に向け、今後、あわら市や坂井市内においても工事が加速していきます。



■県内鉄道建設所一覧

建設所名	工事担当区間	所在地
あわら鉄道建設所	あわら市、坂井市	あわら市国影第13号13番地 ☎0776-43-0250
福井鉄道建設所	福井市	福井市大手2丁目10街区3番 ☎0776-26-1080
越前鉄道建設所	鯖江市、越前市	越前市堀川町10番30号 ☎0778-43-6380
敦賀鉄道建設所	南越前町、敦賀市	敦賀市鉄輪町1丁目3番26号 ☎0770-47-6315

発行 福井県総合政策部新幹線建設推進課
〒910-8580 福井県福井市大手3丁目17-1
Tel: 0776-20-0298
Email: shinkansen@pref.fukui.lg.jp
写真提供: 鉄道・運輸機構



建設現場の定点写真をホームページで公開中!

福井県 新幹線工事

検索